国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 22 年 2 月 19 日

各　位

会社名　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　代表取締役社長　黒田　直樹
コード番号　1605　東証第 1 部
問い合わせ先　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　板野　和彦
電話番号　03-5572-0233

# ブラジル連邦共和国エスピリトサント堆積盆 BM-ES-23 鉱区の取得について

国際石油開発帝石株式会社は、子会社であるブラジル現地法人 INPEX Petróleo Santos Ltda. を通じて、ブラジル南東沖エスピリトサント堆積盆 BM-ES-23 鉱区権益の 15%を Shell Brasil Ltda.（Shell）から取得することについて、ブラジル国家石油庁（ANP）の承認を得ましたので、お知らせいたします。

BM-ES-23 鉱区は、ブラジル南東部エスピリトサント州東方の離岸距離 100km に位置し、水深は 1,800-2,000m、鉱区面積は 723 km² です。今回の権益譲受により、本鉱区の権益保有比率は、オペレーターのブラジル国営石油会社（ペトロブラス）65%、Shell 20%、INPEX Petróleo Santos Ltda. 15%となり、今後、共同で本鉱区における探鉱活動を実施してまいります。

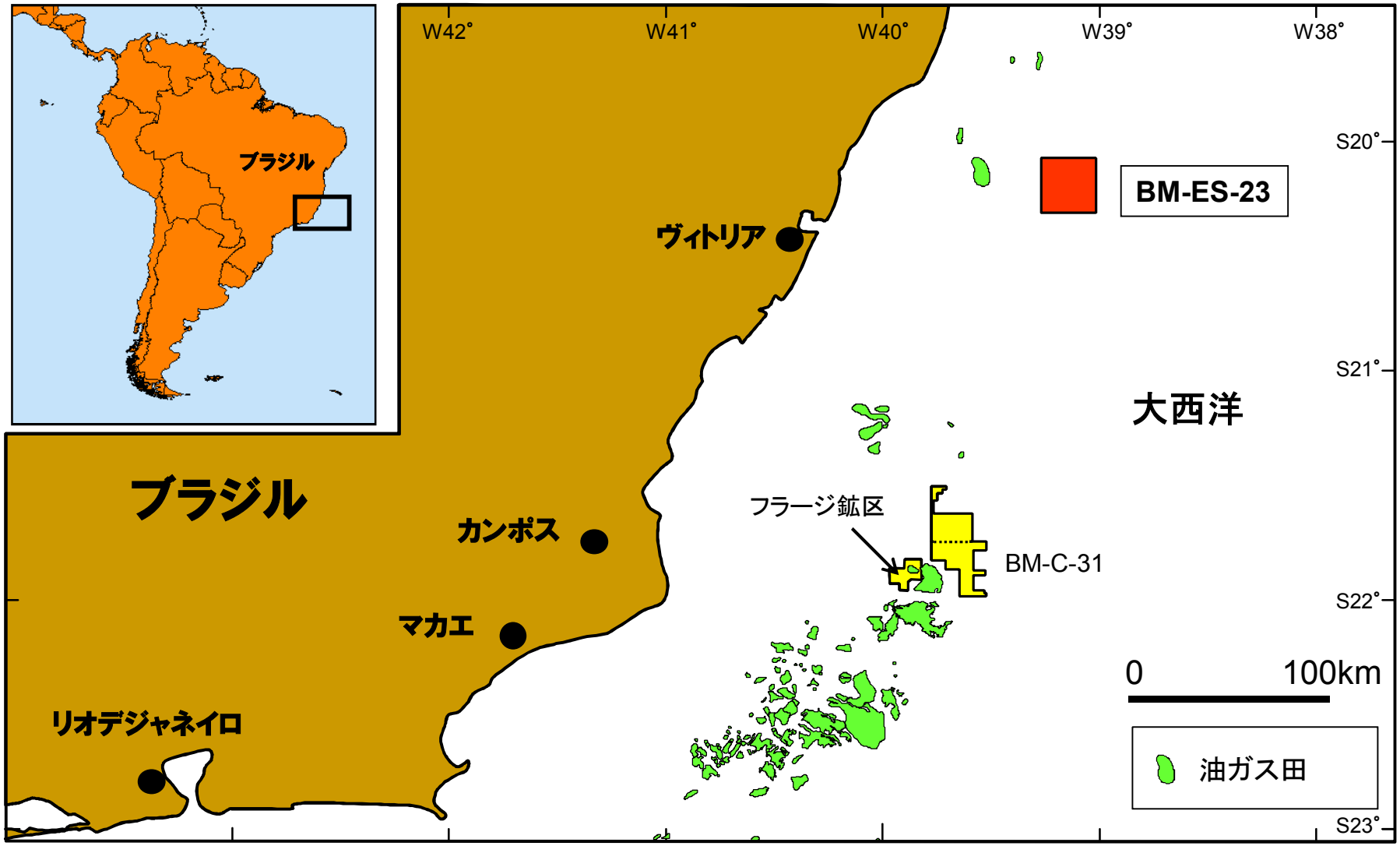
本鉱区は、油ガス田が数多く確認されているエスピリトサント堆積盆に位置しており、今後、原油・天然ガスの発見が期待できる有望エリアと考えております。また、当社が 2008 年 10 月に 20%の権益を取得したカンポス堆積盆 BM-C-31 鉱区（注 1）に続いて、中南米最大手の石油会社であるペトロブラスのオペレーターシップの下で共同事業を実施することにより、同社との関係が更に強化され、当社事業が一層拡大することが期待されます。

当社は、ブラジル海域を投資戦略上のターゲットエリアの一つとしております。ブラジル南東沖カンポス堆積盆のフラージ油田開発事業（注 2）では、2009 年 6 月に原油生産を開始いたしました。大規模な原油・天然ガスの埋蔵の発見が相次ぐブラジルにおいて、原油・天然ガス資産を一層拡大するため、当社は今後さらなる事業展開に積極的に取り組んでまいります。

以上

（注 1）カンポス堆積盆 BM-C-31 鉱区
権益保有者は、INPEX Petróleo Santos Ltda.20%、ペトロブラス（オペレーター）60%、Shell 20%。現在、探鉱作業を実施中。

（注 2）フラージ油田開発事業
権益保有者は、Frade Japão Petróleo Limitada（当社の持分法適用関連会社の子会社）18.3%、Chevron（オペレーター）51.7%、ペトロブラス 30%。2006 年 6 月から開発作業を実施し、2009 年 6 月に原油生産を開始。


ブラジル
W42°
W41°
W40°
W39°
W38°
S20°
S21°
S22°
S23°
BM-ES-23
ヴィトリア
大西洋
ブラジル
カンポス
フラージ鉱区
BM-C-31
マカエ
0
100km
リオデジャネイロ
油ガス田